

困り感

- ・弱視のため、書籍の辞書で調べるのが困難である。
- ・墨字や点字の辞書が使えない。
- ・点字の辞書の持ち運びが困難である。



取り組みの内容・授業の様子等

☆児童・生徒は、個々に手元のiPadやiPhoneのアクセシビリティでVoiceOverを設定することで、自分で辞書を引くことができる。

- 使用アプリ：「Y!辞書」
- 準備物：iPadもしくはiPhone 1台、WiFi環境
- 事前準備：Wi-Fi等インターネットの利用できる環境でVoiceOverを設定する。
- 活用方法：いつでもどこでも辞書を引くことができ、持ち運びも楽にできる。

◎実際の活用例：

- ・対象学年…高等部3年生、教科…国語
- ・活用後の感想…点字の辞書は分冊であるため、持ち歩くことができなかったが、すぐに調べることができた。弱視のため、色の反転(白黒)や自分の見やすいフォントサイズで調べることができた。

Y!辞書

拡大

白黒反転

成果と今後の課題

- ・点字や墨字を使えない場合でも、音声で調べることができる。
- ・持ち運びが容易なため、調べたいときに調べることができる。
- ・wifi等インターネットの利用できる環境がないと調べることができない。